

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語演習Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0215		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教材プリントを配布する。					
担当教員	米永 正敏					
到達目標						
英文のリーディングスキルを向上させる。 科学技術分野の基本用語、時事問題の背景を習得する。 内容に関するエッセイを書けるようにする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英文記事の内容を正確に読解できる。		英文記事の内容の概要を読解できる。		英文記事の内容の概要を理解できない。	
評価項目2	科学技術分野の基本用語、時事問題について、詳細に理解できる。		科学技術分野の基本用語、時事問題について、概要を理解できる。		科学技術分野の基本用語、時事問題について、概要を理解できない。。。	
評価項目3	英文記事について論理的なエッセイを書ける。		英文記事について感想を書ける。		英文記事について感想を書けない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	英語の読解力向上を目的とする。英語から日本語への逐語訳ではなく、基本的な情報を読み取る訓練に重きを置く。概要を把握して、内容について理解を深め、自分の考えを構成する演習を行う。 教材として、科学技術分野に関連したトピックや、現代の社会問題を扱った英文を採択して配布する。					
授業の進め方・方法	英和辞書（書籍の辞書、電子辞書）を必ず持参してください。 基本的な英文法の説明（文の要素、文型、時制、関係詞の修飾関係など）を通して、英文の構造を把握する。 英語から日本語へという単純な言語の置き換えではなく、内容を正確に理解することを第一義とし、その後に和訳の段階に進む。 適宜、レポートの提出を課すこともある。					
注意点	定期試験 80点および課題レポート 20点を目安として、総合的に勘案する。 再試験は、必要に応じて実施する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			
		2週	教材プリント－ 1 －		文の構成要素	
		3週	教材プリント－ 2 －		五文型	
		4週	教材プリント－ 3 －		名詞、代名詞	
		5週	教材プリント－ 4 －		関係詞 関係代名詞、関係副詞	
		6週	教材プリント－ 5 －		動詞 1 be動詞	
		7週	教材プリント－ 6 －		動詞 2 一般動詞	
		8週	教材プリント－ 7 －		動詞 3 時制変化 基本時制	
	2ndQ	9週	教材プリント－ 8 －		動詞 4 時制変化 進行形	
		10週	教材プリント－ 9 －		動詞 5 時制変化 完了形	
		11週	教材プリント－ 10 －		動詞 6 時制変化 完了進行形	
		12週	教材プリント－ 11 －		不定詞 1 名詞的用法	
		13週	教材プリント－ 12 －		不定詞 2 形容詞的用法	
		14週	教材プリント－ 13 －		不定詞 3 副詞的用法	
		15週	復習-1-			
		16週				
後期	3rdQ	1週	教材プリント－ 14 －		動名詞 1 主語としての動名詞	
		2週	教材プリント－ 15 －		動名詞 2 目的語としての動名詞	
		3週	教材プリント－ 16 －		動名詞 3 補語としての動名詞	
		4週	教材プリント－ 17 －		仮定法 1 仮定法の時制変化	
		5週	教材プリント－ 18 －		仮定法 2 仮定法過去	

		6週	教材プリント－ 1 9 －	仮定法 3 仮定法過去完了
		7週	復習－ 2 －	
		8週	教材プリント－ 2 0 －	分詞構文 1
	4thQ	9週	教材プリント－ 2 1 －	分詞構文 2
		10週	教材プリント－ 2 2 －	分詞構文 3
		11週	教材プリント－ 2 3 －	話法 1 直接話法
		12週	教材プリント－ 2 4 －	話法 2 間接話法
		13週	教材プリント－ 2 5 －	話法 3 話法の転換
		14週	教材プリント－ 2 6 －	特殊な構文
		15週	復習－ 3 －	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用の 基礎となる 知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0